

ホーム「夏まつり」

8/5



▲ホーム職員によるヨサコイ



▲やぐらを囲んで盆踊り

特老「いいいたてホーム」の夏まつりが、ホーム前庭と駐車場で開催され、入居者が家族や地域の方々と



▲音楽に合わせてレクダンス

みんなで盆踊り

一緒に一足早い盆踊りを楽しみました。
まつりでは、ホーム職員によるヨサコイ踊りはじめ、子ども神輿、はなづか太鼓の演奏などが行われ、まつりを盛り上げました。
また、会場内にはホーム職員や社協、ボランティアの方たちによる模擬店が並び、焼き鳥や焼きそば、かき氷などが全て100円とあって、買い求める人たちの長い列ができていました。
まつりの最後に行われた盆踊りでは、入居者とその家族らが、やぐらを囲んで踊りの輪をつくったり、一緒に花火をして、楽しい「夏まつり」を過ごしていました。

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613



第9回

7/26 ~ 7/30

海洋アドベンチャースクール



①フェリー上での記念写真 ②アイヌ舞踊を体験する団員たち ③フェリー内でのバイキング食事のようす ④キャンプファイヤーのようす ⑤倶知安町の子どもたちとバーベキューをする団員たち ⑥ラフティングを楽しむ団員たち ⑦休憩をしながら山頂を目指す団員たち

子どもたちが洋上生活や北海道での交流活動を通して、人を思いやる心や感謝

する心を育むことなどを目的に、村が毎年実施している「海洋アドベンチャースクール」。今年度は村内の小学6年生70人とスタッフ18人の計88人が参加しました。
北海道では、アイヌの伝統芸能などを体験したほか、倶知安町の子どもたちと一緒に登山をしたり、バーベキューやキャンプファイアーをして交流しました。
また、尻別川のラフティング（川下り）にも挑戦。インストラクターの指導を受けながら、上手にボートを進ませました。
北海道は毎日快晴で、参加した団員たちは自然や人々と触れ合い、充実した5日間の旅を楽しんできたようです。
同事業は、保護者からの強い要望により、16年度から3年間延長して実施してきましたが、今回がその3年目、最後の航海となりました。

10年後の大切なあなたへ
ぽけっと

戦後50年経ち、日本の「家族」の姿も随分と変わってきました。

3世代、4世代同居から核家族化が進み、家庭の教育力の低下などから、子どもの非行が騒がれ、親が子、子が親を殺してしまったり、離婚が増えたりと、その変化は大変大きいものがあります。

しかし、いくら時代が変わっても、最小単位の「家族」「家庭」が基本であり、むしろ改めて、その「家庭の大切」が大きく叫ばれているところです。

ですから、村ではこれまで「いい夫婦・いい家族ふれあいコンサート」「家族映画祭」「家庭の十大ニュース」など、改めて「家族が話し合う機会」「大切さを考えてもらう機会」「共通体験を通じて家庭を見直す機会」を、村民のお手伝いをいただきながら進めてきたところです。

さて、今年が村が誕生してちょうど50年。この年に、また何らかの「家族を考える企画を」ということで、「10年後の大切なあなたへ」という、10年後に配達される手紙を用意しました。

「いつも世話になっていながら、なかなか言葉で伝えられない奥さんへ」「親として大きな期待をかけている我が子や孫へ、その思いを」「育ててもらった親への感謝の気持ちを」「自分にとって、とても大切な人へ」かなかなか言えなかった自分の気持ちを」など、十人十色の「熱い思い」を手紙に書いてみてください。村が責任を持って10年後に配達いたします。

平成28年10月初旬には、村内の各家庭で「心温まる」「涙を流す」「改めて家族の熱い思いが伝わる」一時が必ず訪れるはずです。そのことによって、改めて「家庭の大切さ」「家族の素晴らしさ」を感じていただけるものと確信しています。

村の人口と同じ6500通を目標に、投函するポスト役は役員職員もやりますので、奮ってご参加を。

平成18年8月29日

飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ 親の氏名 行政区

大内菜々美ちゃん 勝・恵子 佐 須
 巻野陽菜ちゃん 裕之・千江美 伊 丹 沢
 阿部亜衣ちゃん 公治・ユキイ 佐 須
 すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名 行政区

佐藤 守 福 島 市
 菅野 美沙紀 比 叢
 村山 博 仁 深 谷
 大塚 由 貴 南相馬市
 いつまでもお幸せに

お く や み

氏 名 年 齢 行政区

村上 松 男 79 伊丹沢(上飯樋)
 高橋 竹 雄 90 伊 丹 沢
 高橋 榮 90 小 宮
 庄司 松 雄 75 関 沢
 大内 ヨシエ 78 小 宮
 菅野 武 雄 98 大久保・外内
 鈴木 政 一 55 小 宮
 庄司 正 75 伊 丹 沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成18年8月1日現在)

人 口	今 月 (前月比)	昨年同期
男	3262人 (-7人)	3340人
女	3295人 (-7人)	3392人
計	6557人 (-14人)	6732人
世帯数	1740戸 (±0戸)	1878戸

7月1日～31日までの人口動態			
転入	9人	転出	16人
出生	1人	死亡	8人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)
※昨年同期は、平成12年国勢調査に基づく現住人口

トレーシーさんも浴衣姿で参加

8/14・15 第16回飯樋流し盆踊り大会



▲地区内を踊り流し踊り子ら



▲仮装盆踊り大会のようす

飯樋4地区で組織する、飯樋流し盆踊り実行委員会(三瓶政美実行委員長)主催の「第16回飯樋流し盆踊り大会」が、2日間にわたり飯樋町地内にて盛大に開催され、メイン会場の村民グラウンドや浴道は多くの帰省客らで賑わいました。

初日は、地域の踊り子らが揃いの浴衣姿で地区内を踊り流しました。

翌日に行なわれた仮装盆踊り大会には、村内外から28組が出場。趣向を凝らした出し物や子どもたちの可愛らしい仮装が登場し、沿



▲仮装大会にも参加したトレーシーさん

道に詰め掛けた観客たちから大きな拍手を受けていました。

また、7月に着任した英語指導助手のトレーシーさんも浴衣を着て大会に参加し、日本の夏の風物詩を楽しんでいました。



▲ゲートボールを楽しむ参加者たち



▲ニュースポーツ体験



▲60人が参加したグラウンドゴルフ大会



▲スポーツ講演会のようす



▲講演する本宿先生

スポーツカーニバル 2006

8/19・20

各スポーツに爽やかな汗

今年で9回目を迎えた、村体育協会(大内雄治会長)主催の「スポーツカーニバル2006」が、スポーツ公園陸上競技場をメイン会場に開催され、参加者たちが各種スポーツに汗を流しました。

今回のイベントでは、バドミントン大会やグラウンドゴルフ大会、スポーツ少年団野球大会、村野球連盟理事長杯、チャレンジニュースポーツなど、関係団体による多彩なスポーツが行われ、各会場とも賑わ



▲応援も盛り上がったスポ少野球大会

いました。

このうちスポ少野球大会には、村内外から8チームが出場。トーナメントによる試合の結果、飯樋ドリムズが見事に優勝を飾りました。

また、飯樋中体育館では「スポーツ講演会」が行われ、公立藤田総合病院の本宿尚名院長が「豊かなスポーツライフを支える心と身体」をテーマに、スポーツ時に注意することや健康づくりの心がけることなどを分かりやすく講演しました。



▲優勝した飯樋ドリムズの選手たち

各大会結果は、次のとおりです。(敬称略)

スポーツ少年団野球大会
 優勝：飯樋ドリムズ(飯館村) ▼準優勝：桜ヶ丘ブラックタイガース(相馬市)
 ▼3位：原二小F・ラークス(南相馬市)

村野球連盟理事長杯
 村内外から35人が参加。含む8チームが参加。
 ▼優勝：ファイターズ ▼準優勝：JAそうま ▼3位：ファーマーズ、ジョーカーズ
 バドミントン大会

男子ダブルス 1位：日下拓也・渡辺大(川俣町) ▼女子ダブルス 1位：渡部まゆみ・居村久美子(南相馬市) ▼混合ダブルス 1位：遠藤貴志・鈴内優香(大熊町)

グラウンドゴルフ大会
 男子 1位：高橋富雄(飯樋町) ▼2位：鳴原忠夫(飯樋町) ▼3位：佐藤貞勝(前田)
 女子 1位：草野澄江(飯樋町) ▼2位：高橋スセノ(飯樋町) ▼3位：高橋スイ(上飯樋)